

科目名	測量学Ⅱ Surveying II			担当教員	宮崎 耕輔		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	11134008	単位区分	履修単位
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラバース, 間接距離, 地形, 路線の各測量法の原理を理解し, 測量士補, 測量士の資格試験に合格できる能力を涵養する。</li> <li>・平常授業 (演習・レポートを含む) に対する真摯な取り組み態度を涵養する。</li> </ul>						
進め方	授業内容は必要最小限の項目にとどめる。授業内容の理解を助けたり深めたりするために必要に応じて実験実習との時間配分を調整し, その理解度・習得度を確認しながら授業を進め, 全員が授業内容を理解できるよう配慮する。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. ガイダンス(1) (本科目の位置付け, 授業内容と成績評価方法) 2. トラバース測量(6) (1) トラバース測量の概要 (2) トラバース測量の順序 (計画と踏査, 選点と造標, 距離測量, 各測量) (3) トラバース測量の計算方法 ----- [前期中間試験](2)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラバース測量の基本原理を説明できる。</li> </ul> 学習・教育目標 : (B)			
	3. 面積(3) (1) 三角形による面積計算 (2) 座標による面積計算 (3) 横距, 倍横距による面積計算 (4) 支距法 (オフセット法) による面積計算 4. 間接距離測量(スタジア測量)(3) (原理, 一般公式, 誤差と精度)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積の計算方法を説明できる。</li> <li>・間接距離測量の基本原理を説明できる。</li> </ul> 学習・教育目標 : (B)			
	前期末試験						
	5. 体積の計算方法(3) (1) 断面法 (2) 点高法 (3) 等高線法 6. 測量における誤差論(3) ----- [後期中間試験](2)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体積の計算方法を説明できる。</li> <li>・誤差の考え方を説明できる。</li> </ul> 学習・教育目標 : (B)			
	7. 応用測量の概要(7) (測量士補試験対策) (1) 地形測量 (2) 路線測量 (3) 写真測量 後期末試験			<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用測量の概要を説明できる。</li> </ul> 学習・教育目標 : (B)			
	前期末試験						
	後期末試験						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は, 演習, 課題への取り組みを 20%, 定期試験を 80%として評価する。</li> <li>・4回の定期試験については, それぞれ 25%として評価に入れる。課題の提出遅れは, 減点する (未提出 0%, 提出遅れ 60%)。</li> <li>・学習内容の重みは, 2~7のそれぞれについて 25%, 12.5%, 12.5%, 12.5%, 12.5%, 25%とする。</li> </ul>						
履修要件	・特になし						
関連科目	測量学 I, 実験実習 I (1年) → 測量学 II, 実験実習 II (2年) → 測量学 III (5年)						
教材	教科書 : 測量学 I, II (コロナ社), 土木製図 (実教出版) 《1年からの持ち上がり》 参考書 : 星 仰 著 地形情報処理学 (森北), C. A. Johnston 著 GIS の応用 (森北)						
備考							